

◆◆◆◆◆
安里 周作 議員



◆◆◆◆◆
給食費無償化について

質 幼稚園児と中学生給食費無償化の費用負担額と財源について伺います。

答 学校教育課長 石川 司

幼稚園児の給食費無償化の費用負担額が、第3子免除の制度も含めて2百90万円、中学生の給食費無償化の費用負担額、助成金も全て含めて1千2百20万円の財源負担があります。財源は幼稚園児85名、中学生300名が免除対象になっていて、ふるさとづくり応援寄附金の基金です。

質 小学生の給食費無償化に必要な金額と、今後の取り組みについて見送った要因を伺います。

て見送った要因を伺います。

答 学校教育課長 石川 司

恒久的な財源確保が今回は厳しいということで、小学生の給食費無償化に必要な金額は、助成金を含めて2千3百40万円です。助成金を引くと追加額は1千2百万円となります。恒久的な財源の確保が必要で、今回は見送ろうというところで段階的に検討しています。

質 一人親家庭で援助漏れの取組は。

答 学校教育課長 石川 司

経済的支援はおおむねされている状況です。今後、中学校入学から大学卒業までを通じた支援が必要だと思つて。

◆◆◆◆◆
SDGsモデル事業の具体的な取組について

質 サステナビリティ・ハブ事業の事務局機能の具体的な取組について、経済、社会、環境の取組を伺います。

答 企画課長 山城雅人

サステナビリティ・ハブ事業につきましては、環境、経済、社会の統合的な体制づくりを目指し

ます。事務局機能としては、村内関係施設の調整役をする拠点とし、グリーンフィングの窓口の機能と、SDGsの村民への普及を大きく図って、OISTと村内の橋渡し役と考えている。

質 SDGsの具体的な事業説明をお願いします。

答 企画課長 山城雅人

環境分野がグリーンフィングの導入、村内のダイビングの調整を図っていく。環境関連のモニターングと保全活動の推進として、海、河川等の水質調査と赤土等流出防止対策事業を実施している。経済分野は、恩納村版ローカル認証制度の導入に向けた計画、OISTの事業開発セクションとの連携。社会分野は、サンゴの村づくりに向けた行動計画における普及啓発の実施、村民のSDGsの理念、普及啓発です。

◆◆◆◆◆
万座毛の環境整備について

質 万座毛の施設完了後、芝生やアダンの対応を考えているか。

答 社会教育課長 長浜健一

万座毛は、昭和45年に県の指定

工期の延期は、12月の繰越手続を県と調整した中で認められた状況でありますので、受注者及び発注者の責に帰すべき、できない理由であります。



万座毛周辺活性化施設(5/8撮影)

質 副村長にお聞きします。明許繰越の理由と原因は。軽減の補助などは考えていますか。

答 副村長 外間 毅

特殊ボルトの生産業者のほうに納品されないというものがございまして、今回、明許繰越の理由となっております。

質 今回、物価の変動に基づく請負代金額の変更はあるのか。

答 建設課長 崎山 敦

工事発注後の物価の変動に基づく請負代金額の変更はありません。

名勝と天然記念物万座毛石灰岩植物群落からなり、植物の管理が必要。現在、許可を得て遊歩道帯に繁茂する植物の除去を行っております。アダンは、県の関係課と調整し対応したい。

質 第2駐車場に行く道路の安全性対応を伺います。

答 建設課長 崎山 敦

安全対策は、スピードを抑制するハンパの設置、道路交通規制の看板の設置、車の一時待避所を考えています。今後、関係機関と調整し実施します。



万座毛

ん。

質 工事遅れにより指定管理者や納品業者に大変な迷惑をかけています。それに対して、村はどのような見解か。また施工業者からの謝罪の言葉はあったのか。

答 建設課長 崎山 敦

施工業者からのそういった話はありませんでした。

質 現在、建設工事のため各店舗内への資材や器具の搬入等ができませんなどの問題があります。その辺の損害賠償はどことが補償するのか。

答 建設課長 崎山 敦

現段階では指定管理及び納品業者からの苦情はありません。今後そういう形の話がございましたら、指定管理、関係機関と調整してまいります。

質 最後に工事の遅れについてどう思うか。また今後どのような対応を考えているのか。

答 村長 長浜善司

工事の遅れについては、正当な理由があつての繰り越しになっておりますが、今後につきましては、早目に工事を完成させ、指定管理者に引き継ぎ運用を開始してまいりたいと思っております。

◆◆◆◆◆
糸数 昭 議員



◆◆◆◆◆
万座毛周辺活性化施設整備事業について

質 村民や恩納区民の悲願だった万座毛周辺活性化施設整備事業の納期の期限はいつまでですか。そしていつ完成ですか。

答 建設課長 崎山 敦

事業の工期につきましては9月末でございます。外構を含む工事

関係の完成は7月末でございます

質 整備事業の入札は何年に行われましたか。またいつから施工されましたか。

答 建設課長 崎山 敦

当初は、平成30年11月21日に入札を実施いたしました。入札の結果は不調、落札者なしに終わりました。村は、図面等の確認と見積書の市場調査後、再入札を平成31年2月14日に実施し、建築、機械、電気の業者が平成31年2月21日の臨時議会によって決定されました。工事は、平成31年3月18日、仮設から施工しております。

質 工程におくれが発生したのは、いつからですか。

答 建設課長 崎山 敦

令和元年9月ごろから遅れ始めました。その原因は不調により再入札を行った間、3カ月間、それとオリンピック開催に伴う工事の増により、鉄骨をつなぐ特殊ボルトの入荷がおくれた原因でございます。

質 工事のおくれは、不可抗力か。また人為的な事象であつて、村と施工業者のいずれの責めにも帰すことのできない事由のものか。

答 建設課長 崎山 敦